

みんなの友だち いなっぴー

3/1・2 いなざわ梅まつり

今年も梅まつりに遊びに行ってきたヨ。
シティアテンダントの2人と観光PR大使のはやたく君・タボくんと写真撮影したんだ～♪
梅の花はまだつぼみだったけど、みんなとのステージで盛り上がって最高だったよ！



稲沢の文化財

けんぼんちやくしよくにょらいこうじんぞう
絹本著色如来荒神像

安楽寺（奥田町） 一幅
市指定文化財（昭和56年11月1日指定）

宝瓶に支えられた大円相内の蓮台に坐す相好柔和な一面六臂の如来荒神を中央に置き、その右下に剣、索を執り火焰光背をおって瑟瑟座（長方形の材を井桁状に積み重ねた形の台座）に坐す不動明王、左下に宝瓶上の大円相内の蓮台に坐す一面六臂の愛染明王をそれぞれ配しています。
如来荒神は宝冠をいただき、左右第一手は五鈷鈴と五鈷杵、第二手は宝珠と蓮華、第三手は羯磨と宝塔を持ち、肉身は白色の顔料で表現されています。不動明王は肉身に群青を塗り、頭髮の毛筋を金泥線で表し、裳は丹を塗っています。愛染明王は獅子冠をかぶり、左右第一手は五鈷鈴と五鈷杵、第二手は弓と矢、第三手は握拳と蓮華を持ち、肉身には朱を塗っています。
これらの彩色や描写はかなり粗放で十五世紀末頃の制作と考えられますが、類例が少ない貴重な絵です。



警察署からのお知らせ

稲沢警察署 ☎ 32-0110



油断しない 安全に見えても危険かも ～海、川、山は見た目で危険が分からない～

自然に触れるレジャーは、楽しい半面、自然ならではの危険性もあり、山岳遭難や水難は例年4月頃から発生しています。

●山岳遭難

山岳遭難の多くは、春山に対する認識が甘く、不十分な装備で体力的に無理な計画を立てるなど、知識・経験・体力の不足から起こっています。登山を予定している対象山域の情報を入手し、登山計画を作成して、少しでも山岳遭難のリスクを減らしましょう。

●水難

危険箇所を事前に把握するとともに、増水の恐れがあるときには海や河川に入らないようにしましょう。また、ライフジャケットを着用するとともに、子どもだけで水遊びなどをさせず、必ず保護者が付き添いましょう。

名古屋文理大学文化フォーラム

（市民会館）☎ 24-5111

音楽三昧 合唱団員募集

恒例の音楽三昧、今回は「東欧」をテーマに開催します。その中で演奏する合唱団員を募集します。

練習日 7月から月2回程度

対 高校生以上

定 110人（先着）

¥16,500円（初日に納入）

申 6月15日(日)午前10時から、申込用紙を管理事務室へ ※用紙は申込先で配布

●「音楽三昧」公演日程など

時 令和8年3月8日(日)

場 大ホール

演奏曲 歌劇「イーゴリ公」よりダッタン人の踊り、オペレッタ「メリーウィドウ」より ほか

指 揮 古谷誠一

管弦楽 セントラル

愛知交響楽団



2024-25 大同生命 SV.LEAGUE MEN CHAMPIONSHIP 進出！

ウルフドッグス名古屋はレギュラーシーズンを35勝9敗で終えました。
4月18日(金)から始まるチャンピオンシップで、SVリーグ初代王者が決定します！
優勝目指して戦いますので、ウルトタウン稲沢市の皆さまの熱い応援をよろしくお願いします！



引退選手のお知らせ

2024-25 シーズンを持ちまして、近選手、小山選手、高橋選手が引退となりましたのでお知らせします。皆さまからの温かいご支援・ご声援に心より御礼申し上げます。



ポジション ミドルブロッカー
生年月日 1988年3月9日
年齢 37歳
身長 190cm
出身地 新潟県



ポジション アウトサイドヒッター
生年月日 1998年7月30日
年齢 26歳
身長 189cm
出身地 大阪府



ポジション アウトサイドヒッター
生年月日 1998年7月30日
年齢 26歳
身長 189cm
出身地 大阪府

いなざわふれあい通信

市政情報やイベントなどを映像でお伝えする番組を、稲沢 CATV と西尾張 CATV で放送しています。
番組は市公式YouTubeでも視聴できるほか、シテプロモーション課・図書館でDVDの貸出も行っています。



YouTube

放送内容

5/1～15…ペットボトルの水平リサイクル
5/16～31…市職員採用候補者募集

放送時間（10番組）

稲沢 CATV…6:50、9:50、14:50、17:50、20:50
西尾張 CATV…8:45、16:50、20:50



ぼしあいめい



広瀬菜美

市民文芸 短歌

吉田恵子 選

特選
孫五さい申はおぼりつしみじみと「祭りはいいなあ」と大人びて言う
渡り来て鳴けよ鷺やま火事で行き場なくとも歌をわするな
入選
春の川囀くように寄せる波ゆるりゆると生きていこうや
柳の芽ほんのり色付くこの辺り一足早く春が揺れるる
日が少し延びて気配のやわらかき春の匂ひす夕暮れが好き
庭隅に紅佗助の咲き盛り朝日に映えて辺り華やぐ
遊休の畑の中にいち早く白梅咲きて春を告げたり
五月雨の音に交ざりて耳に入る蛙の合唱水田に聞こゆ
ジャム作り母と時間を煮込ませて冬から春を小びんに詰める
ゆるゆらと風に吹かれて旅をする「何処に行くんだ」雲は応えず
桜井大智(中之庄町)

本庄さん…五歳児を感慨深くさせたのは申の味でしょうか？ 笑のこぼれる歌になりました。
丸山さん…大船渡山の山火事でしょうか、「歌をわするな」は菅原道真公の春を忘るなに通じるような気がします。

募集(7月号短歌 当季雑詠)▶締切日 5月15日(木)(必着)▶応募方法 住所・氏名(ふりがな)を記入の上、郵送(〒492-8269 住所不要)、FAX(23-1489)、Eメール(tanka@city.inazawa.aichi.jp)でシテプロモーション課へ ※はがき1枚につき2首まで